

留萌地区 教育経営研究会

1 目的 道小・道中と連携を図り、教育界を取り巻く今日的諸課題について、情報・意見交流を行うとともに、研修テーマに基づく学習会を通して、会員の資質向上に努め、学校経営の充実安定を図る。

2 主催 北海道小学校長会 北海道中学校長会 留萌管内小中学校長会

3 後援 苫前町教育委員会

4 日時 平成29年 9月26日(火)

5 会場 苫前町公民館

6 参加者 留萌管内小中学校長会会員他(33名)

7 日程 9時30分～10時 受付

10時～10時20分 開会式

10時20分～12時 全国・全道情勢説明・質疑

12時～13時 昼食・休憩

13時～15時 研修会

・講話

・情報提供

・全体交流

・講評

15時～15時15分 閉会式

8 開会式

○ 主催者挨拶 留萌管内小中学校長会長

長谷川 敏之

○ 来賓挨拶 苫前町教育委員会教育長

池田 文敏様

9 全国・全道情勢説明

○一般情勢報告

北海道中学校長会事務局長

高橋 寿輔氏(札幌市立北栄中学校長)

① 道小・道中の組織について

② 全国学力・学習状況調査結果について

③ 働き方改革について

④ 学校閉庁日について

⑤ 遠隔システムの研修について

⑥ 学習指導要領について、他

○留萌地区からの質問・要望事項に対する回答

北海道小学校長会 幹事 新井 弘通氏(札幌市立南小学校長)

北海道中学校長会 幹事 三浦 利章氏(江別市立大麻中学校長)

① 外国語活動の時数対応

② 管理職の人材確保

③ 小学校の専科教員

④ 校長の再任用

⑤ 臨時的任用教員の未配置状況

⑥ 教職員人事評価制度の課題

⑦ 時間外勤務の縮減

⑧ 部活動

⑨ 免許外担当

10 研修会

研修テーマ 「コミュニティ・スクール道内導入校における現状と課題」

(1) 講 話 「なぜ、コミュニティ・スクールが必要なのか」

◇講 師 岩見沢市青少年センター所長 吉 永 洋 氏

◇講話の概要

はじめに、「何故、コミュニティ・スクールを目指すのか」、その意義を公立学校が抱える課題から説明され、課題解決のための方策としてコミュニティ・スクールが重要であることを述べられた。

次に、吉永所長が以前勤務されていた三笠市立三笠中学校において、小中一貫コミュニティ・スクール構想を掲げ、設置準備委員会を立ち上げたことや、その後、岩見沢市立光陵中学校においても、コミュニティ・スクールを導入した経緯が話された。地域とともにある学校づくりのためには、①学校の応援団として機能するコミュニティ・スクールの推進、②学校・家庭・地域総掛かりで子どもを育てる仕組みづくり、③地域のコミュニティセンターとして活用する教育環境づくり、の3点を導入のコンセプトとして挙げられた。

光陵中学校のコミュニティ・スクールの組織や、学校支援部・地域部・広報部の各々が進めている事業、学校と学習塾との連携、また、留萌地区の各校長から出された質問にも答えていただいた。

「いい学校」をつくろうと学校・家庭・地域が当事者意識をもって協働することで「いい地域」も形成されると述べられた。これから本格的にコミュニティ・スクール導入に取り組む研修会参加者に大いに示唆を与えていただいた講話であった。

(2) 情報提供・全体交流

留萌管内小中学校長会組織部副部長の苫前町立苫前小学校 小澤真弓校長より、「留萌管内のコミュニティ・スクール導入状況」についての情報提供がなされた。留萌管内8市町村におけるコミュニティ・スクールの導入状況や、天塩町立啓徳小学校と苫前町の取組が紹介され、その後、全体で交流を行った。

全体交流では、講師の吉永所長が強調されていた当事者意識についての質問から始まり、小中連携教育とコミュニティ・スクールの関係性、また学校運営協議会と部の関係性などについて、意見交流が行われた。苫前町教育委員会の池田教育長からも、貴重なご発言をいただいた。

(3) 講 評

最後に、講師である岩見沢市青少年センター 吉永所長より、研修会全体を通しての講評をいただき、研修会を終了した。

11 開会式

○ 主催者挨拶 留萌管内小中学校長会 組織部長 永 沼 慧久男